

創

—第 61 回—

感動、勇氣、
元気をありがとう！

今月はやはりこれしかないでしょう！春のセンバツ甲子園大会において、明豊高校が見事に準優勝！おめでとうございませう。

県勢としては54年ぶりの決勝進出、そして別府としては決勝進出も、準優勝も初めてです。

一回戦から強豪だらけで、その中を選手達は一戦一戦強く逞しく成長しながら、実力的には上位かもしれない相手を撃破してきました。

ミックスアップという言葉があります。「よくかき混ぜる」「ごちゃ混ぜにする」という事らしいのですが、格闘技の世界などでは「互いにつつかり合い、想像できなかった高みに到達する」という意味になると昔聞いた記憶があります。今回の明豊が正にそう。本当に良く頑張ってくれ



別府市長
長野 恭紘

ました。

グラウンド外でも選手達が練習場まで毎日歩いて行く時、すれ違う市民一人一人に爽やかな挨拶をしてくれる、だから心の底から応援すると多くの市民の皆さんから聞きました。甲子園での活躍だけでなく、日頃からの姿勢も素晴らしいのです。

そして夏への戦いはもう始まっています。明豊を目標に県内はもとより全国の高校球児は今日も練習に励んでいます。実は私の息子もそう（だから父親としては少し複雑な思いがあります笑）。

高校球児だけではありませんが、最後の大会で悔いなく全力を出し切り、納得のいく成績を残してもらいたい。これが全ての親や傍で見守る人達の気持ちでしょう。その姿を見るだけで私達は希望をもたれる。

頑張る全ての選手達に、リアル大声のNGです。心で大きなエールを送りたい。

フォトベっぷ



新 たな気づきを—3月24日、ピーコンプラザでユニバーサルツーリズム体験型講演会が行われました。参加者は車いす体験をしながら、別府のバリアフリー旅行における新たな集客の可能性などについての講演を聞きました。



歴 史の幕開け—4月8日、旧山的手中と浜脇中が統合して新設された別府市立別府西中学校の開校式典が行われました。生徒代表の江藤乃愛さんとともにテープカットのあと、式典では種子田空里さんが新たな学び舎での希望と決意を述べました。



2 年ぶりの夜の炎—4月6日、夜の開催としては2年ぶりとなった扇山火まつりが行われました。18時の火入れから約3時間かけて炎が山の斜面を焼き尽くし、新しい芽生えを期待するとともに、別府のまちに春の訪れを告げました。



温 ラインでもアツく—新型コロナの影響で中止になった別府八湯温泉まつりの一部イベントがオンライン配信で行われました。ステージでダンス披露や温泉道名人カードの交付式などを催し、市民を巻き込んだアツいイベントとなりました。